

## JENESYS2016 招へいプログラム 13 陣

対象国：フィリピン テーマ：(文化) 文化・日本語コミュニケーション交流

対象国：ベトナム テーマ：(文化) 文化・日本語コミュニケーション交流

対象国：ミャンマー テーマ：(文化) 文化・日本語コミュニケーション交流

対象国：ラオス テーマ：(技術) 環境・防災体験交流

### の記録

#### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2016」として、フィリピンより大学生 25 名、ベトナムより中学生、高校生および引率者の計 26 名、ミャンマーより大学生および大学院生 24 名、ラオスより高校生、大学生および引率者の計 25 名が、2 月 7 日～2 月 14 日の 7 泊 8 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、教育及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。地方自治体訪問、企業訪問、学校交流、ホームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

**【参加国・人数】** フィリピン 25名、ベトナム 26名 ミャンマー 24名、ラオス 25名  
(五十音順)

**【訪問地】** 東京都（全員）、岡山県（フィリピン25名）、山梨県（ベトナム26名）、大阪府（ミャンマー24名）、宮城県（ラオス25名）

#### 2. 日程

##### 1. フィリピン（文化）

2月7日（火） 成田国際空港より入国

【オリエンテーション】

2月8日（水） 【日本理解講義/基調講演】SIMA 国際経営研究所 木村秀夫氏

【歴史的建造物視察/文化体験】東京都江戸東京博物館

2月9日（木） 岡山県へ移動

【地域産業・企業視察】玉島味噌醤油合資会社/菊池酒造株式会社/株式

- 会社白神紙商店  
**【歴史的建造物視察】** 倉敷美観地区  
 2月10日（金） **【歴史的建造物視察】** 岡山城・後楽園  
**【文化体験】** 岡山県立博物館  
**【学校交流】** 吉備国際大学  
 2月11日（土） **【ホームステイ】**  
 2月12日（日） **【ワークショップ】**  
 2月13日（月） 地方プログラム終了後、東京へ移動  
**【報告会】**  
 2月14日（火） 成田国際空港より出国

## 2. ベトナム（文化）

- 2月7日（火） 成田国際空港より入国  
**【オリエンテーション】**  
 2月8日（水） **【日本理解講義/基調講演】** SIMA 国際経営研究所 木村秀夫氏  
**【歴史的建造物視察/文化体験】** 東京都江戸東京博物館  
 2月9日（木） 山梨県へ移動  
**【最先端技術視察】** 山梨県立リニア見学センター  
**【学校交流】** 甲府西高等学校  
 2月10日（金） **【地方自治体表敬訪問】** 山梨県  
**【文化体験】** 西湖いやしの里 根湯  
**【文化体験】** 山梨県立富士山世界遺産センター  
 2月11日（土） **【ホームステイ】**  
 2月12日（日） **【ワークショップ】**  
 2月13日（月） 地方プログラム終了後、東京へ移動  
**【報告会】**  
 2月14日（火） 成田国際空港より出国

## 3. ミャンマー（文化）

- 2月7日（火） 成田国際空港より入国  
**【オリエンテーション】**  
 2月8日（水） **【日本理解講義/基調講演】** SIMA 国際経営研究所 木村秀夫氏  
**【歴史的建造物視察/文化体験】** 東京都江戸東京博物館  
 2月9日（木） 大阪府へ移動  
**【地域概要講義】** 堺市  
**【文化体験】** 大仙公園（日本庭園）  
 2月10日（金） **【学校交流】** ECC 国際外語専門学校  
**【文化体験】** 大阪くらしの今昔館  
**【歴史的建造物視察】** 住吉大社  
 2月11日（土） **【ホームステイ】**

- 2月12日（日） 【ワークショップ】  
2月13日（月） 地方プログラム終了後、東京へ移動  
【報告会】  
2月14日（火） 成田国際空港より出国

#### 4. ラオス（技術）

- 2月7日（火） 成田国際空港より入国  
【オリエンテーション】  
2月8日（水） 【日本理解講義/基調講演】SIMA 国際経営研究所 木村秀夫氏  
【環境関連施設視察】有明清掃工場  
【商業施設訪問】 お台場  
2月9日（木） 宮城県へ移動  
【学校交流】 東北工業大学  
2月10日（金） 【地方自治体表敬訪問・地域概要講義】南三陸町役場  
【防災関連施設視察】震災語り部ツアー  
2月11日（土） 【ホームステイ】  
2月12日（日） 【ワークショップ】  
2月13日（月） 地方プログラム終了後、東京へ移動  
【報告会】  
【歴史的建造物視察】浅草寺・仲見世通り  
2月14日（火） 成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真  
都内プログラム（共通）

	
<p>2/7【日本理解講義／基調講演】</p>	<p>2/13【報告会】</p>
<p>【Lecture on Japanese Culture／Key Note Lecture】</p>	<p>【Reporting Session】</p>

フィリピン：岡山県

	
<p>2/9【地域産業・企業視察】玉島味噌醤油 合資会社</p>	<p>2/9【地域産業・企業視察】株式会社白神 紙商店</p>
<p>【Observation of Local Industry/Company】 Tamashima Misoshouyu Co. Ltd.</p>	<p>【Observation of Local Industry/Company】 Shiraga paper Co. Ltd.</p>



2/10【文化体験】岡山県立博物館

【Cultural Experience】 Okayama Prefectural Museum



2/10【歴史的建造物視察】岡山城・後楽園

【Observation of Historical Landmark】 Okayama Castle/ Korakuen



2/10【学校交流】吉備国際大学岡山キャンパス

【School Exchange】 Kibi International University



2/12【ホームステイ歓送会】岡山市

【Farewell Party with Host Family】

ベトナム：山梨県





<p>2/9【最先端技術視察】 山梨県立リニア見 学センター</p>	<p>2/9【学校交流】 甲府西高等学校 剣道 体験</p>
<p>【Observation of Cutting-Edge Technology】 Yamanashi Prefectural Maglev Exhibition Center</p>	<p>【School Exchange】 Kofu-Nishi High School, Kendo-experience</p>
	
<p>2/10【地方自治体表敬訪問】 山梨県副知 事 表敬訪問</p>	<p>2/10【文化体験】 西湖いやしの里 根湯 視察</p>
<p>【Courtesy Call on Local Government】 Deputy Governor of Yamanashi Prefecture</p>	<p>【Cultural Experience】 Sai Lake "Iyasi no sato NENBA"</p>
	
<p>2/10【文化体験】 山梨県立富士山世界遺産 センター</p>	<p>2/12【ホームステイ】 ホームステイ 歓送会</p>
<p>【Cultural Experience】 Fujisan World Heritage Center</p>	<p>【Homestay Farewell Party】 with Host Family</p>

ミャンマー：大阪府



2/9 【地域概要講義】堺市

【Lecture on Outline of the Region】  
Sakai City



2/9 【文化体験】大仙公園（日本庭園）

【Cultural Experience】Daisen Park  
Japanese Garden



2/10 【文化体験】お茶体験

【Cultural Experience】Tea Ceremony



2/10 【学校交流】ECC 国際外語専門学校

【School Exchange】ECC Foreign  
Language Institute



2/12 【ホームステイ 歓送会】

【Farewell Party with Host Family】



2/12 【ワークショップ】

【Workshop】



ラオス：宮城県

	
<p>2/9【学校交流】東北工業大学</p>	<p>2/10【地方自治体表敬訪問・地域概要講義】 南三陸町役場</p>
<p>【School Exchange】 Tohoku Institute of Technology</p>	<p>【Courtesy Call on Local Government】 Minami-Sanriku Machi</p>
	
<p>2/10【防災施設関連視察】 震災語り部ツアー</p>	<p>2/11【ホームステイ】南三陸町</p>
<p>【Observation of Disaster Prevention -related Facility】</p>	<p>【Homestay】Minami-Sanriku Machi</p>
	
<p>2/12【ホームステイ歓送会】 【Farewell Party with Host Family】</p>	<p>2/12【ワークショップ】 【Workshop】</p>



#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆フィリピン学生

日本人は伝統、礼儀正しさ、経済、進歩に重きを置いています。若者でさえも歴史保存地区の重要性を認識しています。私たちが訪問した企業は全て長い歴史も持つ老舗で今日も生業を続けています。今回の企業訪問は、日本が伝統継承と進歩発展の間で絶妙なバランスを保っている事実を見せてくれました。日本人は大変親切、好意的な人柄で、友人関係を築きやすく、滞在客のためには自分の都合を変えても一緒に外出してくれます。ホストファミリーの皆様とは短い間しか一緒に過ごせませんでした、別れ際にはお互いに泣いてしまいました。私にとって忘れる事の出来ない思い出となりました。N 家族の皆様にはずっとずっと感謝いたします。

##### ◆ベトナム学生

日本を紹介する基調講演は、簡潔でわかりやすく、私にとって有意義な情報が多くありました。学校交流は素晴らしかったです。私たちには校内の整っている様子、規則がきちんと守られている様子が印象的でした。また、日本の生徒が学校で伝統芸術も学べることは、ベトナムの学校との大きな違いで、近代的な生活を送ると同時に伝統文化を受け継ぐ方法の一つでもあります。

リニア見学センターでは日本の優れた技術に強い印象を受け、山梨県庁では山梨県副知事が温かくお迎えくださいました。ホームステイは初めての体験ですが、大変素晴らしかったです。ホストファミリーの方々は非常に親切で、よく世話をし、ベトナムに良い印象を持ってくれました。ここで私は、日本の文化や、子供から大人までの日本人の性格についても理解を深めることができました。

##### ◆ラオス学生

今回の日本訪問では、多くの感銘を受けました。特にホームステイのプログラムです。ホームステイの初日から、お父さんは、日本の礼儀、言葉、話し方、整理整頓を教えてくださいました。日本人は礼儀正しく、秩序や清潔を好むことは以前から聞いていましたが、実際に経験したのはこの日が初めてでした。また、お父さんやお母さんは、自然災害やそれに対する備え、保全の方法や被害について教えてくださいました。お二人は、実際に地震や津波の被害を体験されたのです。お父さんは、体験を語り、被災地に連れて行ってくださいました。私は、すべてを失った方々の気持ちがどのようなものであったかを深く理解すると同時に、環境と自然災害についての理解が深まりました。言葉が分からないこともありましたが、それは私にとって障害ではありませんでした。私は、自分の感覚や彼らの目を見ることで、自然や文化について多くのことを知り、体験し理解することができたのです。

#### 5. 受入れ側の感想

#### ◆ホストファミリー

ホームステイを始める前は、主人や息子は外国人や海外についてあまりいい印象を持っていなかった部分があり、「海外へ行くことは危険だ」とか、「日本以外は・・・」と思っていましたが、ホームステイを受け入れるようになって外国人や海外にも目を向けるようになり、興味が湧いてきたようです。娘は韓国が好きで、時々短期留学をしたり、また、長期留学も検討しています。少しでも家族が娘の応援を出来るようにホームステイを受け入れたいと希望したことがいい方向に向き嬉しいです。

#### ◆学校交流 日本人学生

今回の対日理解促進交流では、ラオスからの学生が来てくれました。ラオスの学生はとても気さくで、食事を一緒にしていただけですぐに仲良くなれました。日本に興味を持ってきている学生が多く、また機会があれば今度は私たちの方から日本（仙台）を紹介したい気持ちです。もっと時間があれば、観光案内や一緒に日本の料理を作ったりしてみたいです。本当に少しの限られた時間で、すぐに仲良くなれてしまうことにびっくりしています。私たち日本人よりも英語が使いこなせていて、私たちも英語を使いこなしていかなければと常に思います。ノンバーバルだけでなく、発言をしていかなければいけないと思います。これからの未来を考えたとき、アジア圏との交流は最も大切なものになってくると考えています。ここで繋げた繋がりを大事にし、SNS を存分に使い、離れていてもお互いの情報を共有し合える関係でいたいです。そして、今度日本に来るときは、観光案内やちょっとした通訳として役に立ちたいです。

#### ◆学校交流 講師

雪を触ったり写真を撮ったりして東北らしさを感じてもらった後、学食でランチビュッフェをしました。メニューにはたこ焼きもあり、初めて食べる方もいたようです。本学で国際交流に興味のある学生と談話しながら、ラオスや日本の情報、連絡先を交換して交流を深めていました。環境と防災に関わる2つの講義を熱心に聞いてくれ、その後本学の耐震構造の紹介として校舎を守るブレイスや、ダンパーの現物を説明した後、震度1以上の地震を検知し、モニター表示するシステムを見学してもらい、日本では東日本大震災のあった2011年には震度1以上の地震が10681回も観測されている（気象庁より）ことを伝えました。ラオスでは地震は殆ど無いようで、地震大国日本の状況と、技術力を常に向上し、防災を行う必要性があることへの理解を深めてもらえたと思います。また、学生が中心になって準備した折り紙の箱に折り鶴、手裏剣などを入れて全員に渡し、折り紙と英語で折り方を書いた説明書のコピーも渡しました。講義期間中でないため、大学に来る学生が少ない時期で残念でした。もう少し本学側の学生が多く参加できれば、ラオスの学生達もより楽しめたと思います。滞在時に撮影した写真及び記事を本学のFacebook ページにアップし、参加学生の何名かと繋がりましたので、これからも情報共有していきたいと思っています。





7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p><b>Open Japanese Cultural Festival</b></p> <p><b>Activities</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Professional lectures about Japanese culture (e.g. chopsticks, tea ceremony, kimono, traditional games, calligraphy, origami, ikebana, pop culture, etc.)</li> <li>• Japanese food</li> <li>• Cultural booths</li> <li>• Film viewing</li> <li>• Workshops</li> </ul>	<p><b>Action plan</b></p> <p><b>3R – Reduce, Reuse and Recycle</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Why: pollution problem affects environment, social economy</li> <li>• When: after returned from 2 to 6 months</li> <li>• Who: students who joined in JENESYS</li> <li>• To whom: students who study at the same school, near our livings</li> <li>• What: Advise how to classify garbage, educate the young</li> <li>• How: make banners, advise in the class time, hold a garbage classification week</li> </ul>
<p><b>【フィリピン】</b></p> <p>2017年10月ダバオ市にて日本文化と伝統を紹介するプロジェクトフィリピン - 日本フェスティバルを開催する。誰でも参加できるオープンな形とし、講義、書道、茶道体験、日本食、映画上映、その他の活動を計画中。</p>	<p><b>【ベトナム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 帰国後2か月～6か月：JENESYS2016プログラム参加者が学校内及び住んでいる地域内で3R運動を行う。</li> <li>• バナーやポスターを作り、ごみ分別週間を催し、地域の小学校生向けのごみ分別指導を計画・実施する。</li> </ul>
<p><b>【Philippines】</b> Holding an open festival in Davao which introduces Japanese culture and tradition, such as calligraphy, tea ceremony, traditional Japanese food, movies, to the public. The projected schedule of the event is in October, 2017.</p>	<p><b>【Vietnam】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 2 to 6 months after the Jenesys program, the participants will implement the “3R” (Reduce, Reuse, Recycle) activity in their schools or communities.</li> </ul> <p>This is an enlightenment project to increase the awareness of how to reduce and separate the garbage for recycling among local elementary school students.</p> <p>-</p>
<p><b>Our Action Plan</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Project name: “Learn Environment Protection and Disaster Prevention with JENESYS”</li> <li>• Why: To represent Japanese culture, environmental awareness and disaster prevention in Japan.</li> <li>• Who will do it?: JENESYS 2016 2nd batch member</li> <li>• When: After 1 month</li> <li>• Who will receive it?: High School students, Lao citizen</li> <li>• Where: During the Debate competition.</li> <li>• What: Video Presentation(About environment and disaster prevention), Q&amp;A with prize, Photo presentation, Present Recycle items etc. (Total budget: 800,000)</li> <li>• How: Setting up education booth in an event, for members who live in other province that is not Vientiane Capital will promote from person to person and through facebook.</li> </ul>	<p><b>Our Action Plan</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Project name: “Learn Environment Protection and Disaster Prevention with JENESYS”</li> <li>• Why: To represent Japanese culture, environmental awareness and disaster prevention in Japan.</li> <li>• Who will do it?: JENESYS 2016 2nd batch member</li> <li>• When: After 1 month</li> <li>• Who will receive it?: High School students, Lao citizen</li> <li>• Where: During the Debate competition.</li> <li>• What: Video Presentation(About environment and disaster prevention), Q&amp;A with prize, Photo presentation, Present Recycle items etc. (Total budget: 800,000)</li> <li>• How: Setting up education booth in an event, for members who live in other province that is not Vientiane Capital will promote from person to person and through facebook.</li> </ul>

<p><b>【ミャンマー】</b>          アクション・プランの発表          なぜ：良い振る舞いや制度を真似るため。          情報や知識の共有、また日本語と文化の共有をするため。          いつ：帰国後1か月以内          誰が：訪日団全員。誰に：各大学          どのように：各大学での発表。英会話クラブのミーティング。弁論クラブでのプレゼンテーション。</p>	<p><b>【ラオス】</b>          ビエンチャンで行われるディベート大会において、今回得た体験や知識を発信する場所（ブース）を設ける。          日本の環境保護および防災に関するビデオの上映。クイズを出して正解者に賞品を提供、リサイクル製品の展示などを行う。</p>
<p><b>【Myanmar】</b>          Why: To follow the goodness of Japanese manner and rules, and share with us its knowledge, information, language and culture.          When: within 1 month after JENESYS          Who: All participants          Whom: To the college students in the same school of the participants.          How: Make presentations at each college in the English Speaking Society or Debating Club.</p>	<p><b>【Laos】</b> Setting up an education booth during the Debate Competition in Vientiane and voice out our experience and acknowledge gained in JENESYS. Video Presentation (about Japanese environment protection and disaster prevention)          Q&amp;A with prize, Photo presentation, Recycle items display etc.</p>